学校番号	３０２０B

平成３１年度　　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	2	年次	２年後期
使用教科書	改訂版　物理（数研出版）						
副教材等	三訂版　リードα　物理基礎・物理　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

（探究活動を含む）実験・観察・問題演習を通して物理的なものの見方・考え方を身につけていきます。その際、中学校数学や三角関数を用います。予習よりも授業中の取り組み姿勢や発表内容・問題演習、復習を重視しますので、半年間しっかり取り組んでください。

２　学習の到達目標

物理的な事物・現象に対する探求心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則について理解を深め、科学的な自然観を育成する。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：観察・実験の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	物理学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	物理学的な事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノート、教材プリントの記入状況 宿題や課題の提出状況 実験プリントや探究活動時の記録	学習状況の観察 問題集の解答状況 小テスト ワークプリント 実験プリントや探究活動時の記録 定期考査	学習状況の観察 実験時の状況の観察 実験時の発問への応答内容 実験プリントや探究活動時の記録 定期考査	学習状況の観察 ノート、教材プリントの記入状況 問題集の解答状況 小テスト、定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価
方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="5">後期</td><td rowspan="4">力と運動</td><td>平面内の運動</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="4">ａ．力と運動について日常生活の体験に基づいてイメージし、理解しようとしている。
ｂ．講義や実習を通して様々な現象を考察し、導き出した答えを適切に表現している
ｃ．実験・観察・演習の中で探究活動を行い、導き出した答えを的確に記録、整理している。
ｄ．力と運動について理解し、知識を身につけている。</td><td rowspan="4">学習状況,ノート、教材プリント、小テスト
ワークプリント
実験や探究活動時の記録
定期考査</td></tr>
<tr><td>剛体</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>運動量の保存</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>円運動と万有引力</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>熱と気体</td><td>気体のエネルギーと状態変化</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>ａ．熱と気体について日常生活の体験に基づいてイメージし、理解しようとしている。
ｂ．講義や実習を通して様々な現象を考察し、導き出した答えを適切に表現している
ｃ．実験・観察・演習の中で探究活動を行い、導き出した答えを的確に記録、整理している。
ｄ．熱と気体について理解し、知識を身につけている。</td><td>学習状況,ノート、教材プリント、小テスト
ワークプリント
実験や探究活動時の記録
定期考査</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：観察・実験の技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。